

令和8年4月27日

関係各学校長様  
関係各位

茗溪学園中学校高等学校  
校長 宮崎 淳  
(公印省略)

### 個人課題研究代表者発表会および情報交換会のお知らせ

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜りまして誠に有難うございます。

本校は、文部科学省からの指定を受け、2023年度より「第3期スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の研究開発を実施しています。第3期は、「VUCAとなる未来において、総合知をいかして活躍する『価値創造人材』の育成」を研究開発課題として試行錯誤しているところです。

さて、この度、個人課題研究 代表者発表会を下記の要領で開催いたします。本発表会では、本校高校2年生の国際バカロレア（IB）コース以外の生徒全員（257名）が取り組んでいる「個人課題研究」において、学内で選抜された40人の研究成果を、研究分野ごとに分かれて報告いたします。ご多用の折とは存じますが、ご参観いただきましてご指導ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

また、発表会後は、情報交換会を実施し、本校の個人課題研究の取り組みやSSH事業について簡単に紹介させていただいた後、課題研究や探究活動についてご参加いただいた皆様とディスカッションすることを予定しております。こちらについても、ご参加をご検討いただけますと幸いです。

### 記

- 日時 令和8年5月18日(月)  
受付 8:30~9:00  
発表会 9:20~12:10  
情報交換会 12:20~13:00
- 会場 茗溪学園中学校高等学校 各教室  
茨城県つくば市稲荷前1-1 Tel 029 (851) 6611
- 日程 受付 8:30~9:00  
発表会Ⅰ 9:20~10:40 (座長：筑波大学の先生方)  
休憩・移動  
発表会Ⅱ 10:50~12:10  
情報交換会 12:20~13:00

※発表会は、口頭発表です。生徒が各自で設定したテーマを、10の分科会に分かれて発表を行います。

※発表テーマについては、別紙「発表テーマ一覧」をご確認ください。

- 申し込み方法 参観ご希望の場合は、5月13日(水)までに下記URL(フォーム)に回答をお願いいたします。  
当日、到着されましたら、まずは本校事務室にお声がけください。  
参観希望入力フォーム URL : <https://forms.gle/67kLMpVwbb3FatU77>

また、ご不明な点につきましては、下記担当者まで気兼ねなくお問合せください。

#### 問い合わせ先

茗溪学園中学校高等学校

〒305-8502 茨城県つくば市稲荷前1-1

Tel 029(851)6611 Fax 029(851)5455

担当：SSH推進委員長 磯山健太 Email : [isoyama@meikei.ac.jp](mailto:isoyama@meikei.ac.jp)



## 発表テーマ 一覧

| 分科会 A |   |       |
|-------|---|-------|
| No.   | 発表テーマ   | 分野    |
| ①     | ポリスチレン分解能力を有する未発見のミルワーム腸内細菌の特定                    | 生命科学  |
| ②     | 3D プリンターの積層密度と生分解性の関係<br>—最適なパフォーマンスを探る—          | 技術・工学 |
| ③     | ゾウリムシの負の重力走性に及ぼす遊泳空間の影響                           | 生命科学  |
| ④     | 温泉微生物を用いた植物の温度への耐性の向上<br>—温泉微生物の培養株の取得および培養温度の検討— | 生命科学  |

| 分科会 B |                              |          |
|-------|------------------------------|----------|
| No.   | 発表テーマ                        | 分野       |
| ①     | 醤油の匂いを活用した植食性昆虫の摂食抑制効果の検討    | 家政学・生活科学 |
| ②     | アレロパシー活性を利用した雑草対策            | 生命科学     |
| ③     | ガーベラにおけるバクテリアによる導管閉塞の影響と延命化策 | 生命科学     |
| ④     | みかんと青カビの生存競争                 | 生命科学     |

| 分科会 C |   |       |
|-------|---|-------|
| No.   | 発表テーマ   | 分野    |
| ①     | グリニンが細菌のストレス耐性に及ぼす影響への実験的考察   | 生命科学  |
| ②     | ビタミン k2 と認知機能の実験的考察   | 医学・薬学 |
| ③     | スルフォラファン処理によるヒト膵臓がん細胞の形態学的変化と放射線増感効果の検討<br>—細胞増殖、生存率および形態学的解析に基づく基礎的検討— | 医学・薬学 |
| ④     | 黒ボク土土壤中の難溶性リン酸可給態化酵素のアミノ酸配列設計<br>及び AlphaFold を用いた立体構造の視覚化              | 生命科学  |

| 分科会 D |   |      |
|-------|---|------|
| No.   | 発表テーマ   | 分野   |
| ①     | マイクロプラスチックがサカマキガイに与える影響の解明                      | 生命科学 |
| ②     | アマミノクロウサギのロードキルについての研究 —ロードキルと月の満ち欠けの関係—        | 生命科学 |
| ③     | なぜ一部の植物は複葉という形態に進化したのか —単葉との比較実験による環境ストレス適応の検証— | 生命科学 |
| ④     | 馬糞堆肥をより一般的なものにするには                              | 生命科学 |

| 分科会 E |   |           |
|-------|---|-----------|
| No.   | 発表テーマ                                   | 分野        |
| ①     | 効果的な捕捉能力を持つ砂防堰堤の設計<br>—不透過型と透過型の比較をもとに— | 技術・工学     |
| ②     | カードゲーム『UNO』における最適なカード選択について             | 数理科学・地球科学 |
| ③     | 電離箱を用いた水素・重水素・三重水素の分離についての考察            | 数理科学・地球科学 |
| ④     | アバタの筋肉量によるプロテウス効果が筋力へ与える影響              | 技術・工学     |

| 分科会 F |   |      |
|-------|---|------|
| No.   | 発表テーマ   | 分野   |
| ①     | 多文化共生社会に対応する教育支援モデルの提案                              | 社会科学 |
| ②     | 自己肯定感形成プロセスに着目したドラマ教育の考察—授業案構想を通じた教育的意義の検討—         | 教育学  |
| ③     | 読書習慣と人格について —読書の意義から教育的効果を考える—                      | 心理学  |
| ④     | 経済的困難を抱える家庭が子どもを学校に通わせやすくするためには —アフリカ諸国の支援事例に基づく考察— | 社会科学 |

| 分科会 G |  |         |
|-------|--|---------|
| No.   | 発表テーマ  | 分野      |
| ①     | B.革新が日本バスケットボール界に与える影響                       | スポーツ・体育 |
| ②     | 中途障害者の職業継続と復帰に関する研究<br>—医師の職業継続要因と診療科適合性の分析— | 社会科学    |
| ③     | 米ドルの基軸通貨としての見通しと、ビットコインの基軸通貨化についての可能性。       | 社会科学    |
| ④     | 日本市場におけるイギリス料理普及のための戦略的提案                    | 社会科学    |

| 分科会 H |  |       |
|-------|--|-------|
| No.   | 発表テーマ  | 分野    |
| ①     | 時代によるキャラクターデザインの変化<br>—サンリオ、サンエックスから見る「時代っぽさ」とは何なのか— | 諸芸・娯楽 |
| ②     | 女子高生に有効なコスメマーケティングとその活用法<br>—質問紙法で考えるマーケティング—        | 産業    |
| ③     | ストリーミングサービスの台頭時代における映画館の価値再定義と共存可能性の探求               | 産業    |
| ④     | 結婚情報誌と化粧品の CM に見る価値観の変遷<br>—現代の女性に求められている CM とは—     | 社会科学  |

| 分科会 I |  |            |
|-------|--|------------|
| No.   | 発表テーマ  | 分野         |
| ①     | ポモドーロ・テクニックにおける時間配分が集中力に与える影響                        | 社会科学       |
| ②     | ゲームの場面と音楽の関係性の探求と検証 —新たな場面に最適な音楽の理論の確立—              | 心理学        |
| ③     | 見慣れた文字だとゲシュタルト崩壊は起こりやすいのか —筆跡の反復接触によるゲシュタルト崩壊の発生の促進— | 心理学        |
| ④     | 絵画の中で自己表現はいつから台頭したのかを探る                              | 歴史・世界史・文化史 |

| 分科会 J |  |       |
|-------|--|-------|
| No.   | 発表テーマ  | 分野    |
| ①     | 『1Q84』を中心に、村上春樹文学の変遷について考える<br>—デタッチメントからコミットメントへ—                   | 文学    |
| ②     | 少女漫画のキャラクター分析  | 社会科学  |
| ③     | 『徒然草』長月二十日ばかりを海外の人が面白さを理解できるように英訳する                                  | 言語    |
| ④     | ジャンプ作品における、主人公とライバルキャラクターの距離感や、物語上の演出にどのような効果を与えているか —漫画のキャラクターの関係性— | 芸術・美術 |